

# 第14期

## 第3四半期報告書

(平成20年1月1日から平成20年3月31日まで)



平成20年5月9日

### 株式会社 旅籠屋

---

会社名 (定款上の商号)	株式会社 旅籠屋
英文名 (英文商号)	Hatagoya & Company
コード番号	4807
代表者の役職氏名	代表取締役社長 甲斐 真
本店の所在の場所	東京都台東区寿3丁目3番4号
電話番号	03-3847-8858
連絡者	代表取締役社長 甲斐 真

---

# I 当期の業績

## (1) 損益計算書 (単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

科目	期別	前年度	前年度	当年度	当年度	当年度	当年度	前年同期比	前年度
		第3四半期 H19.1.1~ H19.3.31	第4四半期 H19.4.1~ H19.6.30	第1四半期 H19.7.1~ H19.9.30	第2四半期 H19.10.1~ H19.12.31	第3四半期 H20.1.1~ H20.3.31	累計 H19.7.1~ H20.3.31		累計 H18.7.1~ H19.3.31
I 営業収益	売上高	91,225	95,298	168,300	113,732	127,896	409,928	+32.3%	309,796
II 営業費用	売上原価	79,719	89,616	99,529	108,390	110,989	318,908	+35.5%	235,388
	(注1)販売費及び一般管理費	14,463	15,866	15,799	14,633	14,854	45,286	+9.3%	41,451
	営業利益または営業損失(▲)	▲2,957	▲10,184	52,971	▲9,291	2,051	45,731	+38.8%	32,956
III 営業外収益		64	33	14	55	22	92	▲38.3%	149
IV 営業外費用		455	446	441	437	843	1,723	+16.4%	1,480
	経常利益または経常損失(▲)	▲3,348	▲10,597	52,544	▲9,674	1,229	44,100	+39.4%	31,625
V 特別利益		—	—	—	—	—	—	—	—
VI 特別損失		—	—	—	—	—	—	—	—
	税引前四半期(当期)純利益 または純損失(▲)	▲3,348	▲10,597	52,544	▲9,674	1,229	44,100	+39.4%	31,625
	法人税、住民税	730	944	884	984	1,284	3,152	+43.8%	2,192
	四半期(当期)純利益 または純損失(▲)	▲4,079	▲11,541	51,660	▲10,658	▲54	40,947	+39.1%	29,432
	期中平均株式数	6,245 株	6,245 株	6,245 株	6,245 株	6,245 株	6,245 株	—	6,245 株
	1株当たり四半期(当期)純利益 または純損失(▲)	▲653 円	▲1,848 円	8,272 円	▲1,707 円	▲9 円	6,557 円	+1,844 円	4,713 円
	(注1)潜在株式調整後1株当 たり四半期(当期)純利益	—	—	7,303 円	—	—	5,796 円	+1,636 円	4,160 円

(注1) 最終損益が損失となる期間については記載を省略しております。

## (2) 貸借対照表 (単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

科目	期別	前年度	前年度	当年度	当年度	当年度	
		第3四半期末 H19.3.31	第4四半期末 H19.6.30	第1四半期末 H19.9.30	第2四半期末 H19.12.31	第3四半期末 H20.3.31	
(資産の部)	I 流動資産	現金預金	48,911	18,780	52,461	85,692	62,141
		その他	18,231	15,606	22,666	30,603	39,136
		流動資産合計	67,143	34,386	75,128	116,296	101,278
	II 固定資産	有形固定資産	267,414	274,491	281,909	283,576	288,199
		無形固定資産	2,431	2,296	2,161	2,026	2,088
		投資その他の資産	76,520	77,537	80,864	82,380	94,391
	固定資産合計	346,367	354,326	364,936	367,984	384,679	
	資産合計	413,511	388,713	440,064	484,280	485,957	
(負債の部)	I 流動負債	44,389	39,446	43,414	30,757	41,048	
	II 固定負債	83,484	75,171	70,894	138,425	129,865	
	負債合計	127,873	114,617	114,308	169,182	170,913	
(純資産の部)	I 株主資本	資本金	331,000	331,000	331,000	331,000	331,000
		資本剰余金 資本準備金	68,916	68,916	68,916	68,916	68,916
		利益剰余金 繰越利益剰余金	▲114,778	▲126,319	▲74,659	▲85,318	▲85,372
		株主資本合計	285,137	273,596	325,256	314,597	314,543
	II 新株予約権	新株引受権	500	500	500	500	500
		純資産合計	285,637	274,096	325,756	315,097	315,043
	負債・純資産合計	413,511	388,713	440,064	484,280	485,957	
	発行済株式総数	6,245 株	6,245 株	6,245 株	6,245 株	6,245 株	
	1株当たり純資産	45,658 円	43,810 円	52,083 円	50,376 円	50,367 円	

**(3) 株主資本等変動計算書** (平成 19 年 7 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日、単位：千円、千円未満は切り捨てて表示)

項目	株主資本				新株予約権	純資産 合計
	資本金	資本剰余金 資本準備金	利益剰余金 その他利益剰余金	株主資本 合計	新株引受権	
平成 19 年 6 月 30 日残高	331,000	68,916	▲126,319	273,596	500	274,096
第 1 四半期中の変動額 四半期純利益			+51,660	+51,660		
第 1 四半期中の変動額の合計			+51,660	+51,660		+51,660
平成 19 年 9 月 30 日残高	331,000	68,916	▲74,659	325,256	500	325,756
第 2 四半期中の変動額 四半期純利益			▲10,658	▲10,658		
第 2 四半期中の変動額の合計			▲10,658	▲10,658		▲10,658
平成 19 年 12 月 31 日残高	331,000	68,916	▲85,318	314,597	500	315,097
第 3 四半期中の変動額 四半期純利益			▲54	▲54		
第 3 四半期中の変動額の合計			▲54	▲54		▲54
平成 20 年 3 月 31 日残高	331,000	68,916	▲85,372	314,543	500	315,043

**(4) 貸借対照表および損益計算書の作成の基本となる事項**

四半期の貸借対照表および損益計算書の作成の基礎としている会計処理の原則および手続は、下記事項を除き正規の決算において採用している基準と同一のものを適用しております。正規の決算において採用している重要な会計方針等は「会社内容説明書 第5経理の状況 (4) 個別注記表 ①重要な会計方針に係る事項に関する注記」をご参照ください。事業年度の貸借対照表および損益計算書の作成のために採用している会計処理の原則および手続と異なる会計処理の基準は次のとおりです。

- 固定資産の減価償却の方法 各四半期の減価償却費は年間償却見積額の4分の1相当額を計上しています。
- 経過勘定項目 未収収益、未払費用等の経過勘定項目のうち、重要性の低い項目は、資産および負債に計上せず期間費用として処理しています。
- 税金の計上基準 法人税、住民税および事業税の年間見積り額の4分の1相当額を計上しています。
- 消費税等の会計処理 仮払消費税等および仮受消費税等は、相殺のうえ、差額を流動資産または流動負債として計上しています。

なお、当該四半期の貸借対照表、損益計算書および株主資本等計算書については、監査法人の監査を受けておりません。

**(5) 重要な会計方針**

## 1. 固定資産の減価償却の方法

## (1) 有形固定資産

定額法を採用しています。なお、主な耐用年数は以下のとおりです。

建物:17～18年、構築物:15～20年、車両運搬具:4～6年、工具器具備品:3～8年

(会計方針の変更) 当事業年度より、法人税法の改正に伴い、平成 19 年 4 月 1 日以降取得の有形固定資産については、改正後の法人税法に規定する方法により、減価償却費を計上しております。これによる損益に与える影響は軽微です。

## (2) 無形固定資産

定額法を採用しています。なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法を採用しています。

均等償却によっています。

## (3) 長期前払費用

定額法を採用しています。

## 2. リース取引の処理方法

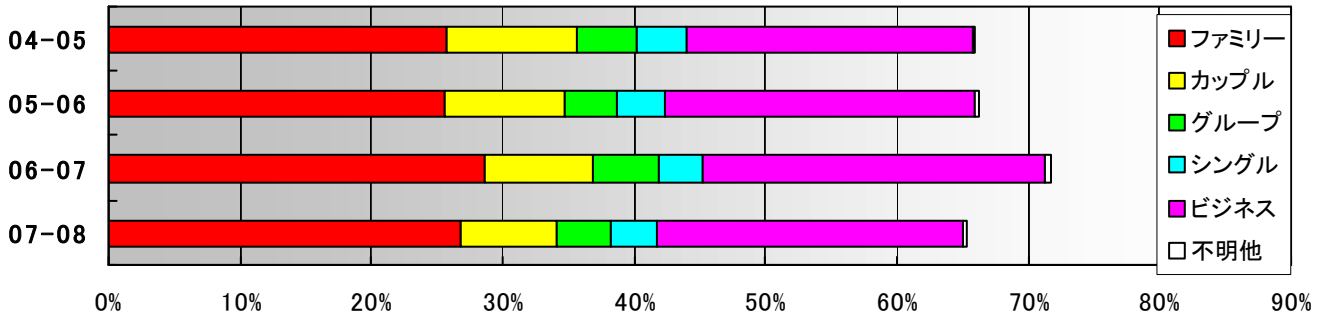
リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっています。

## 3. 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっています。

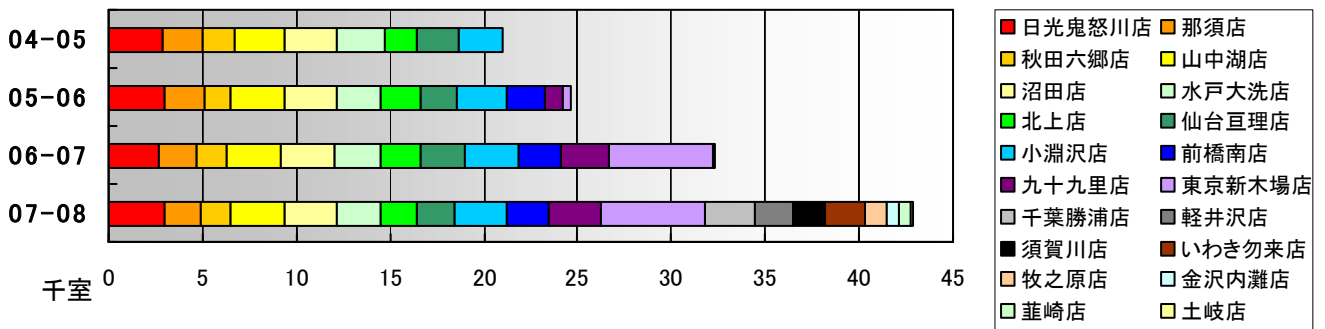
## Ⅱ 第14期第3四半期（平成19年7月1日～平成20年3月31日）の業績の概況

客室稼働率(全店通算、構成内訳)の推移 (平成19年7月1日～平成20年3月31日)



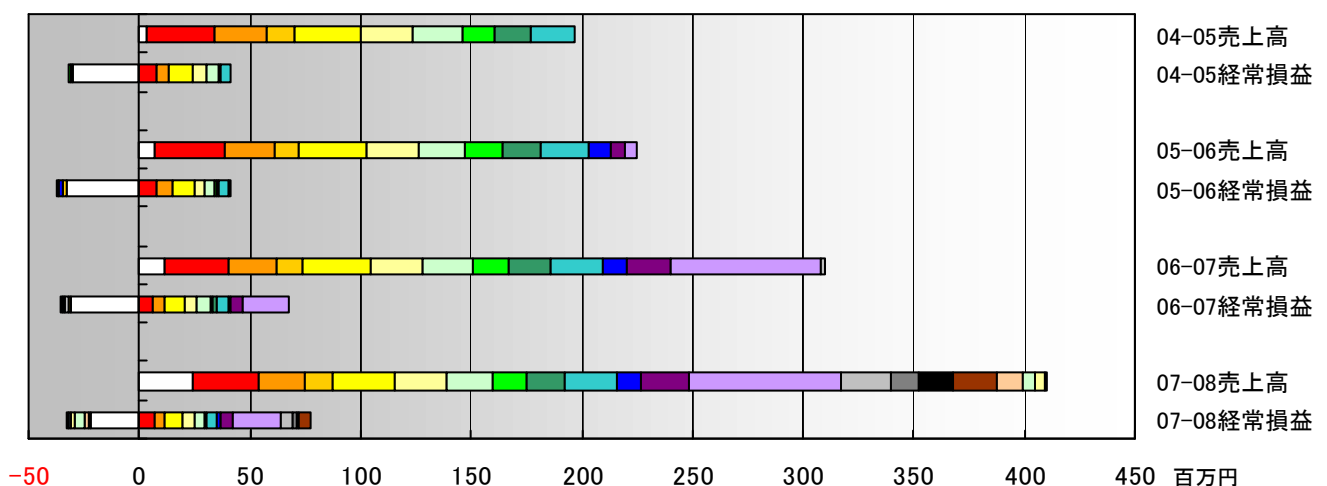
- ・前年同期に比べ6.4ポイント減少(71.7→65.3%)していますが、オープン1年未満の7店舗(48.7%)を除く既存店では71.2%であり、ほぼ前年同期並みでした。
- ・ファミリーの割合が増加し、カップルが減少する傾向です。

利用客室数(全店合計、店舗別内訳)の推移 (平成19年7月1日～平成20年3月31日)



- ・既存店では仙台亘理店、北上店、水戸大洗店の減少が大きく、逆に日光鬼怒川店が復調傾向です。

売上高・経常損益(全社合計、部門別内訳)の推移 (平成19年7月1日～平成20年3月31日)



- ・売上高は、新店の増加と出店決定にともなう本社企画調整費が倍増したため、前年同期に比べ大幅に増加しました(+32.3%)。
- ・経常利益は、建設中を含めた店舗全体の増加(62,530→65,843千円、+5.3%)と、企画調整費売上の倍増による本社損失の減少(▲30,905→▲21,743千円)により、前年同期に比べ大きく増加(+39.4%)しました。

## 部門別内訳

(単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

科目	期別	前年度	前年度	当年度	当年度	当年度	当年度	前年同期比	前年度
		第3四半期 H19.1.1~ H19.3.31	第4四半期 H19.4.1~ H19.6.30	第1四半期 H19.7.1~ H19.9.30	第2四半期 H19.10.1~ H19.12.31	第3四半期 H20.1.1~ H20.3.31	当年度 累計 H19.7.1~ H20.3.31		前年度 累計 H18.7.1~ H19.3.31
本社	売上高	5,565	3,356	5,708	3,052	15,829	24,590	+119.9%	11,181
	経常損益	▲9,022	▲12,802	▲10,306	▲11,921	485	▲21,743	-	▲32,857
日光鬼怒川店	売上高	7,067	7,458	13,121	8,481	7,738	29,342	+0.5%	29,190
	客室稼働率	42.5%	47.4%	59.8%	56.1%	42.0%	56.7%	+2.8%	6,350
那須店	売上高	5,237	5,948	10,273	5,504	5,422	21,200	▲3.1%	21,884
	客室稼働率	47.1%	60.3%	73.1%	55.8%	51.8%	60.3%	▲2.6%	5,198
秋田六郷店	売上高	2,361	3,495	5,857	3,828	2,259	11,945	+1.0%	11,829
	客室稼働率	34.4%	42.6%	56.1%	52.9%	29.9%	46.3%	-	▲1,209
山中湖店	売上高	8,478	7,561	13,193	7,895	7,202	28,291	▲8.3%	30,847
	客室稼働率	68.3%	67.1%	85.6%	72.7%	66.7%	75.0%	▲6.9%	8,769
沼田店	売上高	7,785	6,052	7,961	6,974	8,231	23,168	+1.9%	22,738
	客室稼働率	93.7%	78.4%	81.1%	83.0%	88.2%	84.1%	+1.0%	5,532
水戸大洗店	売上高	6,036	5,889	9,486	5,593	6,005	21,084	▲8.5%	23,031
	客室稼働率	68.2%	70.2%	74.9%	67.4%	69.7%	70.7%	▲33.0%	6,084
北上店	売上高	4,248	4,184	6,974	4,237	3,923	15,136	▲8.5%	16,545
	客室稼働率	53.9%	50.4%	64.7%	55.5%	51.9%	57.4%	-	1,043
仙台亘理店	売上高	5,354	5,600	8,370	5,370	3,850	17,590	▲6.4%	18,795
	客室稼働率	71.9%	69.8%	74.0%	68.2%	47.6%	63.3%	▲56.6%	1,816
小淵沢店	売上高	6,813	6,584	10,262	6,351	6,536	23,150	▲0.9%	23,372
	客室稼働率	88.1%	84.5%	89.3%	77.6%	82.4%	83.1%	▲15.2%	5,806
前橋南店	売上高(運営受託料)	3,278	3,345	4,688	2,986	3,769	11,443	+8.2%	10,575
	客室稼働率	71.6%	71.9%	72.0%	63.3%	74.5%	69.9%	+64.1%	1,049
九十九里店	売上高	6,081	5,782	9,209	6,096	6,235	21,541	+5.3%	20,456
	客室稼働率	83.1%	76.7%	82.3%	81.7%	81.1%	81.7%	+8.1%	4,924
東京新木場店	売上高	21,566	19,671	25,213	22,757	20,842	68,813	+1.2%	67,999
	客室稼働率	88.6%	83.6%	89.6%	92.3%	84.6%	88.9%	+2.3%	20,917
千葉勝浦店	売上高	1,351	5,832	9,229	6,182	7,244	22,655	+1576.9%	1,351
	客室稼働率	73.5%	69.6%	72.8%	77.6%	87.4%	79.2%	-	▲1,833
軽井沢店	売上高(運営受託料)	-	1,948	7,759	2,667	1,942	12,369	-	-
	客室稼働率	-	52.7%	76.8%	51.0%	41.0%	56.3%	-	▲975
須賀川店	売上高	-	2,585	6,699	4,455	4,134	15,288	-	-
	客室稼働率	-	36.3%	54.1%	54.4%	47.9%	52.2%	-	▲964
いわき勿来店	売上高	-	-	9,366	5,063	5,726	20,155	-	-
	客室稼働率	-	-	67.9%	50.0%	58.9%	58.5%	-	-
牧之原店	売上高	-	-	4,863	2,752	3,966	11,582	-	-
	客室稼働率	-	-	46.6%	26.8%	44.4%	38.5%	-	-
金沢内灘店	売上高	-	-	61	2,733	2,278	5,073	-	-
	客室稼働率	-	-	31.9%	31.9%	24.3%	28.6%	-	-
韭崎店	売上高	-	-	-	745	4,091	4,836	-	-
	客室稼働率	-	-	-	47.9%	52.4%	51.9%	-	-
土岐店	売上高	-	-	-	-	665	665	-	-
	客室稼働率	-	-	-	-	34.3%	34.3%	-	-
伊賀店	経常損益	-	-	-	▲23	▲262	▲285	-	-
塩之浦PA店	経常損益	-	-	-	▲60	▲861	▲922	-	-
松阪東店	経常損益	-	-	-	-	▲63	▲63	-	-
浜名湖店	経常損益	-	-	-	-	▲59	▲59	-	-
佐野SA店	経常損益	-	-	-	-	▲59	▲59	-	-
新潟南店	経常損益	-	-	-	-	▲84	▲84	-	-
全社合計	売上高	91,225	95,298	168,300	113,732	127,896	409,928	+32.3%	309,796
	客室稼働率	68.0%	65.1%	72.8%	63.2%	60.6%	65.3%	+39.4%	31,625

### Ⅲ 第14期の売上高および利益の予測について

(単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

科目	期別 第13期 通期実績 H18.7.1～ H19.6.30	第14期				
		第1四半期 実績 H19.7.1～9.30	第2四半期 実績 H19.10.1～12.31	第3四半期 実績 H20.1.1～3.31	第4四半期 予想 H20.4.1～6.30	通期予想 H19.7.1～ H20.6.30
売上高	405,094	168,300	113,732	127,896	120,072	530,000
経常損益	21,027	52,544	▲9,674	1,229	▲24,099	20,000
当期純損益	17,890	51,660	▲10,658	▲54	▲25,948	15,000

第3四半期は、夏休みまでにオープン予定の新規店舗の企画調整費売上（5店舗分、約15,000千円）が集中したため、経常利益が前四半期末の予想（▲10,000円）と異なり黒字になりました。第4四半期においては、こうした特殊条件はなく、4月から7月にかけてオープンする6店舗の開業費用が発生するため、通期の損益予想に変更はありません。新規店舗を早期に軌道に乗せ、上方修正できるよう努めたいと考えます。

### Ⅳ 資金および借入金の状況

(1) 現金および預金の増減 (単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

科目	期別	第13期	第13期	第14期	第14期	第14期
		第3四半期 H19.1.1～3.31	第4四半期 H19.4.1～6.30	第1四半期 H19.7.1～9.30	第2四半期 H19.10.1～12.31	第3四半期 H20.1.1～3.31
現金および預金の増減額		▲12,625	▲30,131	+33,681	+33,231	▲23,551
現金および預金の四半期首残高		61,536	48,911	18,780	52,461	85,692
現金および預金の四半期末残高		48,911	18,780	52,461	85,692	62,141

(2) 短期借入金の増減 (単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

科目	期別	第13期	第13期	第14期	第14期	第14期
		第3四半期 H19.1.1～3.31	第4四半期 H19.4.1～6.30	第1四半期 H19.7.1～9.30	第2四半期 H19.10.1～12.31	第3四半期 H20.1.1～3.31
短期借入金の増減額		—	—	—	—	—
短期借入金の四半期首残高		—	—	—	—	—
短期借入金の四半期末残高		—	—	—	—	—

(3) 長期借入金の増減 (単位：千円、千円未満は切り捨てて表示) 1年以内返済予定額を含みます。

科目	期別	第13期	第13期	第14期	第14期	第14期
		第3四半期 H19.1.1～3.31	第4四半期 H19.4.1～6.30	第1四半期 H19.7.1～9.30	第2四半期 H19.10.1～12.31	第3四半期 H20.1.1～3.31
長期借入金の増減額		▲7,134	▲6,991	▲6,717	+44,863	▲8,559
長期借入金の四半期首残高		114,404	107,270	100,279	93,562	138,425
長期借入金の四半期末残高		107,270	100,279	93,562	138,425	129,865

借入金の減少は、約定返済によるものです。

(4) 投資その他の資産の内訳 第14期第3四半期末（平成20年3月31日）時点（千円未満は切り捨てて表示）

60,164千円	… 借上直営店における差入れ保証金（契約満了時返済）
26,750千円	… 「軽井沢店」における建設協力金（10年均等償却）
3,766千円	… 借地直営店における借地権利金（20年均等償却）
2,500千円	… 長期性預金
<u>1,210千円</u>	… 取引信用金庫などへの出資金
合計 94,391千円	

## V 今後の事業展開と出店計画について

### 「土岐店」「伊賀店」「壇之浦PA店」がオープン

それぞれ、予定通り3月14日、4月15日、4月23日にオープンしました。なお、「壇之浦PA店」については、西日本高速道路(株)による盛大なオープンセレモニーが催され、テレビ・新聞など多くのメディアで報じられました。



「土岐店」



「伊賀店」



「壇之浦PA店」

### 「松阪東店」のオープン予定日が決定

建築中の「松阪東店」のオープンが6月13日に決まり、すでに予約の受付を開始しています。

### 「浜名湖店」「佐野SA店」「新潟南店」の出店が決定

すでにお知らせしたとおり、3店舗の出店が決定し、いずれも夏休み前のオープンを目指し、建設工事中です。

### その他の出店計画

引き続き、高速道路SA・PAへの出店計画を進めるとともに、着実に店舗網を拡大していく計画です。

### 「東京新木場店」のバリアフリー化工事完了

「東京都バリアフリー化助成金対象事業」として進めていた「東京新木場店」の改築工事が完了し、車椅子対応客室と誰でもトイレが設置されました。今後は、この経験を生かし既存店の改築工事を順次進めるとともに、運営マニュアルの改善を図り、誰にでも使いやすい宿泊施設になるよう改善していく計画です。

### インターネット対応完了

昨年より、進めていた客室でのインターネットアクセスが全店全室で可能になりました。

### 本社スタッフの増員と社内管理体制の整備

本社スタッフの増員については、店舗管理部門に2名（1名は4月より、1名は5月より勤務開始）の採用が決まり、引き続き経理総務部門の募集を行っています。これにともない、長らく懸案となっていたマニュアル整備を含む社内ネットの大幅な再編成と、総務労務管理の一元化および社内諸規定の整備を積極的に進める予定です。

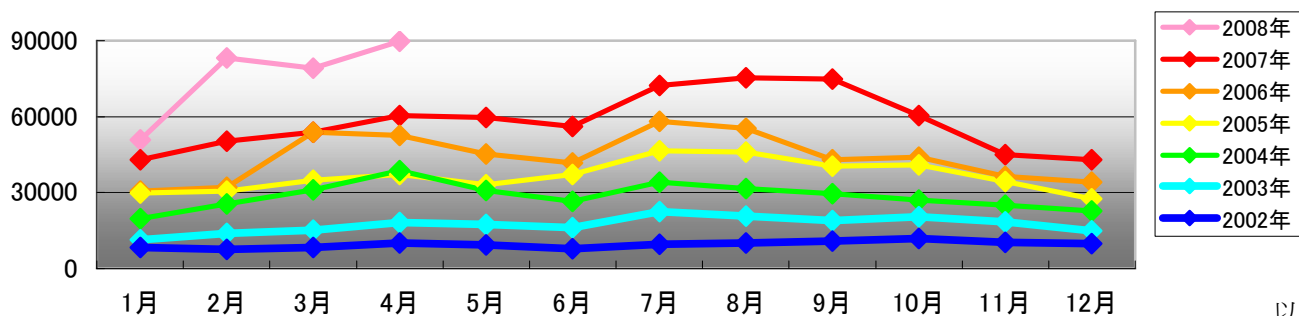
### 広告宣伝、パブリシティ

以下の媒体に広告を掲載しました。

- ・「高速家族」 ……中日本高速管轄のSA・PAで配布される無料情報誌の裏表紙。4月下旬より隔月発行。
- ・+BCN ……サーファー向け年刊ガイド。
- ・日経ベンチャー ……5月号（4月下旬発行）。

なお、2月下旬に日本経済新聞に紹介記事が掲載されたこと、「壇之浦PA店」の紹介が西日本高速道路のサイトに掲載されたことなどから、以下のとおりホームページへのアクセス数が大幅に増えています。

### トップページ アクセス数の推移



以上

会社名	株式会社旅籠屋	上場取引所等	GR
コード番号	4807	本社所在都道府県	東京都
代表者	代表取締役社長 甲斐 真		
問い合わせ先	責任者役職名 代表取締役社長 甲斐 真	TEL (03) 3847-8858	

1. 平成 20 年 6 月期 第 3 四半期の業績（平成 19 年 7 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）

- (注) 1. 本四半期決算短信の数値は、未監査です。  
 2. 本四半期決算短信の数値は、税効果会計の適用等、所要の会計上の修正を行っていません。  
 3. 百万円未満は切り捨てて表示しております。

(1) 経営成績

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20 年第 3 四半期	409	(32.3)	45	(38.8)	44	(39.4)
19 年第 3 四半期	309	(37.8)	32	(365.9)	31	(573.4)

	当期純利益		1 株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 経常利益率
	百万円	%	円 銭	円 銭	%	%	%
20 年第 3 四半期	40	(39.1)	6,556 83	5,795 81	13.9	10.1	10.8
19 年第 3 四半期	29	(1104.3)	4,712 98	4,160 67	10.9	7.7	10.2

- (注) 1. 期中平均株式数 20 年 3 月期 6,245 株 19 年 3 月期 6,245 株  
 2. 会計処理の方法の変更 無  
 3. 売上高、営業利益、経常利益、当期純利益におけるパーセント表示は、対前年同期増減率

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1 株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
20 年第 3 四半期	484		315		64.7	50,367	30	
19 年第 3 四半期	413		285		69.1	45,658	60	

- (注) 1. 期末発行済株式数 20 年 3 月期 6,245 株 19 年 3 月期 6,245 株

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー		投資活動による キャッシュ・フロー		財務活動による キャッシュ・フロー		現金及び現金同等物 期 末 残 高	
	百万円		百万円		百万円		百万円	
20 年第 3 四半期	66		△52		29		62	
19 年第 3 四半期	47		△21		△29		48	

2. 平成 20 年 6 月期の業績予想（平成 19 年 7 月 1 日～平成 20 年 6 月 30 日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1 株当たり年間配当金(円)				
				第 1 四半期	中間期末	第 3 四半期	期 末	年 間
通 期	530	20	15	—	—	—	0	0

(参考) 1 株当たり予想当期純利益（通期） 2,401 円 92 銭

上記に記載した予想数値は、現時点での入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

以上